

ホ 子ぎつねが手ぶくろを買いに

新美 南言

登場人物はだれか。

- 1. 子ぎつね
- 2. 母さん
- 3. 子ぎつねの父さん
- 4. 人間の母さん
- 5. 人間の子ども

主役はだれか。

主役は子ぎつねだと考えよう。なぜかという点、全部の場面にていていふからです。あといろいろこう動しているからです。

あらすじ調へ

一の場面

B 子ぎつねが背を向けて見えた話。子ぎつねが手ぶくろを買いにいこうとしてる話。

二の場面

A 子ぎつねの母が人間の母にかえりて子ぎつねに手ぶくろを買いにいこう話。

三の場面

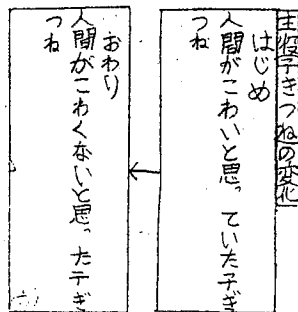
A 子ぎつねが手ぶくろを買って、それが人時に手ぶくろを買って帰っていく話。

四の場面

A 子ぎつねが人間の母の話を聞いてお母さんがこいしくなると話。

五の場面

子ぎつねがお母さんに森へ帰った話。子ぎつねが母さん、人に人間です。こいしくなると話。



①②③④の場面の変化の中で一番大切な変化

- ① こわか、たこわくなくな。
- ② 手ぶくろがなしく手ぶくろを買えた。
- ③ 手がつめたいし手があたたかい。
- ④ 背 P74の前より一行目と二行目と三行目の子ぎつねのしつ問に答えているお母さん。つねが「人間はね、相手がきつねだとわかるし、手ぶくろを売、てくれないなだ。それどころか、つかまえておりの中に入れてさうだ。」

人間てお母さんと同じく、お母さんのまなこを覗いてお母さんを見てた。そのまなこを覗くとお母さんのまなこを覗いてお母さんを見てた。お母さん、人間、てまなこを覗いてお母さんを見てた。お母さん、人間、てまなこを覗いてお母さんを見てた。お母さん、人間、てまなこを覗いてお母さんを見てた。

反対意見
手ぶくろがなまか、たが手ぶくろを買えたのは、手ぶくろを買、てて入れただけで子ぎつねの変化じゃないと思、てます。手がつめたいのが手があたたかくな、たのは、手ぶくろを買、たから手があたたかくな、ただけで、つに子ぎつねの変化じゃないと思、てます。

子ぎつねの気持ちを変えたものは何か。
人間はこわいものだ

人間は、ともこわくない
ぼつし屋さんの心
人間の心
お母さんの心

お母さん、子ぎつねの気持ちを、変化したのが、お母さんは変化したと思、てます。だ、て、お母さんは人間がこわいと思、てたけど、こいしくなると手ぶくろがこわくないと言、て、こわいのかこわくないのかかわらなくな、た。だから変化した反対意見にこたえたい意見。
でも、こいしくなると人間はいいものかしら、ほんとうに人間はいいものかしら、とまて、それを変化したんじゃない、て、こいしくなると、

変わ、ていないの人にしよう聞きませす。
P80のほんとうに人間はいいものかしら、ほんとうに人間はいいものかしら、と書いてあります。もしも変わ、てないと言、てお母さんが人間がこわいと思、てるお母さん、子ぎつねがなるといふことを言、てますか。

この物語のいいところは何か、
「手ぶくろを買、てい」は、子ぎつねやお母さん、子ぎつねの変化とおして、か、て、こわいときめつけてはよくないといふのであ、

一単元分のノート例